

## 事務事業評価調査

担当課	総務部	美麻支所	産業建設係	事務事業No.	16152			
事務事業名	ふたえ市民農園管理費							
会計	一般会計		款	6	項	1	目	5
総合計画	まちづくりのテーマ		第2節 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			前期計画登載頁	60	頁
	施策目標		移住・定住促進策等の充実強化					
	施策項目		都市との交流の促進					
個別計画	大町市過疎地域自立促進計画						27	頁
事務事業の目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）				
	地域資源（遊休荒廃農地）を活用し、都市住民との交流と共生を図るとともに、地域の振興と活性化に寄与する。市外在住者対象			体験用施設を活用するなどして新規利用者を獲得し、利用を通じて移住・定住促進に繋がるよう施設を管理運営していく。				
主な業務内容	○交流促進センター及び休憩施設付農園49区画の管理 ・センター・休憩施設の管理業務委託（利用者の受付・日常清掃・農作業技術指導等を含む） ・市民農園内（農地を除く）の草刈り・除雪業務委託 ・休憩施設屋根塗装修繕 3棟							

### 【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
	総事業費（決算額）		22,461,367 円		22,391,542 円		19,441,344 円		
	財源内訳	特定財源	17,635,944 円		17,703,765 円		16,033,431 円		
		一般財源	4,825,423 円		4,687,777 円		3,407,913 円		
活動指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値	
	①	休憩施設契約数	棟	36	33	35	42	83.3%	42
	②								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値	
	①								
	②								
2. 数値で表せない効果		（指標①）都市住民等に「農業・土・自然」と親しむ場を提供し、都市と農村の住民交流を図ることにより、地域の振興と活性化に寄与している。							

### 【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計	
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化				継続
	点数	高い	普通	普通	重複なし	高い	適正である				
	点数	3	2	2	3	3	3	18			
評価理由	体験農園施設が整備されたことにより、遊休荒廃農地の有効利用が図られている。農村景観の保全と共に、都市と農村の交流の場として利用されている。										

### 【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成8年～12年に建設した施設の老朽化が進んでおり、修繕箇所が増加傾向にある。</li> <li>令和2年度は、休憩施設付農園9区画が空き区画であった。</li> <li>開設から25年経過する中で、施設の目的や運営方法について、見直しが必要な時期を迎えている。</li> </ul>
改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容）	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋根塗装等の建物修繕については、今後も計画的に行っていくこととする。</li> <li>休憩施設付農園の5区画を体験用として活用し、移住・定住の促進とともに空き区画の解消を図る。また、地域のイベント等の情報を提供して参加を呼びかけ、地域との交流促進を図る。</li> <li>施設のあり方について、地域住民の意見を聞きながら検討を進める。</li> </ul>

## 事務事業評価調査

担当課	総務部	美麻支所	産業建設係	事務事業No.	16153			
事務事業名	おおしお市民農園管理費							
会計	一般会計		款	6	項	1	目	5
総合計画	まちづくりのテーマ	第2節 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			前期計画登載頁	60	頁	
	施策目標	移住・定住促進策等の充実強化						
	施策項目	都市との交流の促進						
個別計画	大町市過疎地域自立促進計画						27	頁
事務事業の目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）				
	地域資源（遊休荒廃農地）を活用し、都市住民との交流と共生を図るとともに、地域の振興と活性化に寄与する。市外在住者対象			体験用施設を活用するなどして新規利用者を獲得し、利用を通じて移住・定住促進に繋がるよう施設を管理運営していく。				
主な業務内容	○管理棟及び休憩施設付農園36区画の管理 ・管理棟・休憩施設の管理業務委託（利用者の受付・日常清掃・農作業技術指導等を含む） ・市民農園内（農地を除く）の草刈り・除雪業務委託 ・農園駐車場の舗装修繕 7区画							

### 【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
	総事業費（決算額）		6,077,869	円	6,633,663	円	6,542,752	円	
	財源内訳	特定財源	6,077,869	円	6,633,663	円	6,542,752	円	
一般財源			円		円		円		
活動指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値	
	①	休憩施設契約率	棟	27	25	24	32	75.0%	32
	②								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値	
	①								
	②								
	③								
2. 数値で表せない効果		（指標①）都市住民等に「農業・土・自然」と親しむ場を提供し、都市と農村の住民交流を図ることにより、地域の振興と活性化に寄与している。							

### 【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計	
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化				継続
	点数	高い	普通	普通	重複なし	高い	適正である				
	点数	3	2	2	3	3	3	18			
評価理由	体験農園施設が整備されたことにより、遊休荒廃農地の有効利用が図られている。農村景観の保全と共に、都市と農村の交流の場として利用されている。										

### 【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成13年～16年に建設した施設であるため、今後屋根塗装等の修繕が必要である。</li> <li>・令和元年度は、休憩施設付農園11区画が空き区画であった。</li> <li>・開設から20年経過する中で、施設の目的や運営方法について、見直しが必要な時期を迎えている。</li> </ul>
改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋根塗装等の建物修繕については、ふたえ市民農園とあわせて計画的に行っていきたい。</li> <li>・休憩施設付農園の1区画を体験用として活用し、移住・定住の促進とともに空き区画の解消を図る。また、地域のイベント等の情報を提供して参加を呼びかけ、地域との交流促進を図る。</li> <li>・施設のあり方について、地域住民の意見を聞きながら検討を進める。</li> </ul>

## 事務事業評価調書

担当課	総務部	美麻支所	総務係	事務事業No.	121125
事務事業名	美麻地域振興事業				
会計	一般会計		款	2	項
				1	目
				12	
総合計画	まちづくりのテーマ 第5節 市民の参画と協働でつくるまち			前期計画掲載頁	93
総合計画	施策目標 市民の参画・協働と市民の視点に立った市政の推進				
総合計画	施策項目 過疎地域での地域づくりの推進				
個別計画	大町市過疎地域自立促進計画				54
事務事業の目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民と行政が共に取り組む協働のまちづくり</li> <li>幼児から高齢者まで幅広い年齢層、地域や企業や団体等全て</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域課題の解決</li> <li>地域住民の自主的、主体的な取り組みを推進するため、「小さな拠点」の設置と地域運営組織の形成</li> <li>地域振興及び地域環境整備</li> </ul>		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>美麻地域づくり委員会の開催</li> <li>美麻地区防犯灯の更新</li> <li>美麻診療所患者輸送業務</li> <li>美麻地区公共施設周辺維持管理業務</li> <li>美麻地域づくり会議活動の地域住民協働での事業推進及び運営支援</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>過疎地域起業者の育成支援</li> <li>地域芸能文化の振興支援</li> <li>地域振興支援員の配置</li> <li>地域の道路環境維持への支援</li> </ul>		

### 【事務事業の実績】

事業費	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
	総事業費（決算額）	16,599,946 円	8,006,251 円	9,924,367 円				
	財源内訳							
	特定財源	10,235,000 円	1,000,000 円	1,000,000 円				
	一般財源	6,364,946 円	7,006,251 円	8,924,367 円				
活動指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値
	① 地域づくり委員会の開催	回	5	5	4	5	80.0%	5
	② 地域づくり会議協賛世帯	戸	326	313	309	313	98.7%	310
	③							
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値
	① 地域づくり委員会の開催							
	② 地域づくり会議事業の推進							
	③							
2. 数値で表せない効果								
		（指標①）美麻地区振興計画の策定（R2） （指標②）令和元年度に小さな拠点の設置を市に提案し、現在検討を進めている						

### 【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	継続			
	評価	高い	高い	高い	一部重複	普通				
点数	3	3	3	2	2	2	15			
	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>美麻地域づくり委員会は、市民と行政が共に手を携え持続可能な地域社会の形成に向けて、市民の意思を市政に反映するために設置されており、地域課題に対する意見を述べ、市長の諮問に応じて答申している。</li> <li>美麻地域づくり会議は住民自治組織であり、地域課題の解決や地域づくり活動の促進のため、各種事業や講演会や研修会等を開催し実践的な活動をしている。</li> <li>地域振興事業として、各業務に取り組んでおり地域づくりを推進するうえで必要であるが、地域の実状に合わせた改善や見直しは必要。</li> </ul>								

### 【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）
<ul style="list-style-type: none"> <li>地区全体の人口は10年間で16%減少し、今後10年間では15%以上の減少が見込まれている。人口減少が著しい地域であり、地域の誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられる仕組みづくりが必要である。</li> </ul>
改善の方法等（上記の課題をふまへ次年度以降に実施する具体的な改善の内容）
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年4月の事業開始を目的に運営組織の法人化及び拠点整備と合わせて、小さな拠点で実施する事業について、行政との適切な役割分担に基づく地域振興に係る事務事業の見直しを進める。</li> </ul>

## 事務事業評価調書

担当課	総務部	美麻支所	総務係	事務事業No.	121126	
事務事業名	メンドシーノ交流事業					
会計	一般会計	款	2	項	1	
		目	12			
総合計画	まちづくりのテーマ	第1節 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち			前期計画掲載頁	40
	施策目標	心豊かにたくましく生きる子どもの育成				
	施策項目	特色ある交流事業の推進				
個別計画	大町市過疎地域自立促進計画				52	
事務事業の目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>異文化とのかかわりや人々の交流により、次代を担う子供たちの国際感覚を高めていく</li> <li>幅広い年齢層の事業への参画</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>国際交流を子供たちが実際に体験することにより、自主性や積極性を育む</li> <li>地域での継続的な国際交流を推進する</li> </ul>			
主な業務内容	メンドシーノとの姉妹都市交流として、隔年で相互訪問事業 ・交流事前学習会の開催 ・友好記念の制作 ・ウェルカムパーティーの開催 ・姉妹都市交流実行委員会及各種会議の開催 ・学校訪問交流の実施 ・国内移動随行（受入年） ・さよならパーティーの開催 ・訪問報告会の開催					

### 【事務事業の実績】

事業費	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
	総事業費（決算額）	4,234,078 円	900,000 円	0 円				
	財源内訳	0 円	900,000 円	0 円				
		4,234,078 円	900,000 円	0 円				
活動指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	受入れ人数	世帯		30	30	100	
	②	派遣人数	人	28		27	96.4	27
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	相互訪問事業						
	②							
	③							
2. 数値で表せない効果								
（指標①）事業にかかわった児童や保護者が、その後もボランティアとして携わることが増加しており、地域で国際交流を継続して取り組んできた成果である								

### 【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化				
	評価	高い	高い	普通	重複なし	普通	適正である			
	点数	3	3	2	3	2	3			16
	点数	3	3	2	3	2	3			18
評価理由 <ul style="list-style-type: none"> <li>平成4年度に第1回訪問団がメンドシーノの訪問以降、恒例行事となり、平成18年の市町村合併後も特色ある事業として引き続き取り組み、参加する子供たちの大変貴重な機会となっている。</li> <li>平成20年度からは、交流事業から派生した芸術交流プログラムが、中心市街地で開催されており、市の文化芸術の振興にも寄与している。</li> <li>メンドシーノ訪問団を受入れる際は、多くの地域住民がボランティアとして携わり、姉妹都市交流を通して地域住民同士の相互理解も深まっている。</li> </ul>										

### 【具体的な課題と改善】

<b>事業に対する課題について（目的に対する現状など）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響により、令和2年度の訪問は中止となった。また、令和3年度の相互訪問事業も中止を決定。現時点では、相互訪問事業再開時期は未定。</li> <li>コロナ禍でも交流を継続するためビデオレターの作成を行った。</li> </ul>
<b>改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>相互訪問交流の再開までは、ビデオレターによる交流やSNS等を活用したリモート交流を実施することとしている。</li> </ul>

## 事務事業評価調査

担当課	総務部	美麻支所	産業建設・総務係	事務事業No.	1211212
事務事業名	美麻定住促進事業				
会計	一般会計		款	2	項
				1	目
				12	
総合計画	まちづくりのテーマ 第2節 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			前期計画掲載頁	60
施策目標	移住・定住促進策等の充実強化				
施策項目	過疎地域における移住・定住促進				
個別計画	大町市過疎地域振興計画				54
					頁
事務事業の目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）		
	美麻地区住民、美麻地区への移住・定住希望者		過疎化が進む美麻地区において、地域の人口増加を図るため、希望者の移住定住が円滑に移住定住が進むよう、定住促進住宅をはじめとした居住への支援、また、定住促進奨励金などの施策を講じる。		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二重地区定住促進住宅 3区画造成・建築設計（令和3年度 住宅建設）</li> <li>・定住促進奨励金、住宅新築資金利子補給金、就職支援促進奨励金の交付</li> </ul>				

### 【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度	令和元年度		令和2年度		
	総事業費（決算額）		689,043	円	86,677	円	14,953,806	
財源内訳	特定財源			円		円	9,600,000	
	一般財源		689,043	円	86,677	円	5,353,806	
活動指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
	単位		実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値
	①	定住促進住宅造成・建設			3	3	100.0%	3
	②	定住促進奨励金			1	1	100.0%	3
③	住宅新築等利子補給	2	2	2	3	66.7%	2	
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値
	①	定住促進住宅入居者	54	57	61	60	101.7%	70
	②							
③								
2. 数値で表せない効果								
(指標①)								

### 【事業の評価】

項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
評価	高い	普通	高い	重複なし	普通	適正である	継続	16	
点数	3	2	3	3	2	3			18
評価理由	<p>①令和2年度は、定住促進住宅に17世帯61人（内、中学生以下23人）が入居しており、地域の活性化が期待できる。</p> <p>②空き家の増加に伴い、生活環境の悪化や有害鳥獣被害が地区の大きな問題となっている。</p> <p>③定住促進奨励金などの助成は、定住者への支援効果が期待できる。</p>								

### 【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）
<p>① 美麻地区には、住宅建設に規制のかかった区域が多く、自治会からの住宅建設の要望に応えられない地域が多くある。</p> <p>② 空き家の増加に伴い、生活環境の悪化や有害鳥獣被害が地区の大きな問題となっている。</p> <p>③ 過疎地域の起業支援については、起業だけでなく事業継続に向けた支援が必要。</p>
改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容）
<p>① 定住促進住宅の用地選定については、既存ストックの有効活用も含めた検討を行う。</p> <p>② 美麻地域づくり会議が中心となり、住民レベルでの環境改善や空き家の活用への模索が始まっているので、必要な支援をしていく。</p> <p>③ 過疎地域での仕事づくりを支援するため、特定地域づくり事業協同組合の設置に向けた検討を進めている。</p>

## 事務事業評価調査

担当課	総務部	美麻支所	産業建設係	事務事業No.	1211215			
事務事業名	ほかほかランド美麻管理運営費							
会計	一般会計		款	2	項	1	目	12
総合計画	まちづくりのテーマ	第2節 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			前期計画掲載頁	56	頁	
	施策目標	観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進						
	施策項目	“welcome おおまち” 魅力ある観光地づくりの推進						
個別計画	大町市過疎地域自立促進計画						27	頁
事務事業の目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）				
	地域間交流の促進、観光事業の振興及び市民福祉の増進を図ることを目的とした施設。道の駅として、幅広い年齢層の市民や観光客等が対象。			市内唯一の道の駅であり、また美麻地区の地域交流・観光等の拠点施設であるので、良好なサービス提供のため計画的な維持修繕を行うとともに、指定管理者による各種イベント等により利用の促進を図ってきたい。				
主な業務内容	○指定管理施設の維持管理 ・ほかほかランド美遊指定管理料（2,512千円） ・宴会場前女子・レストラン男子トイレ、客室クロス張替え（5室）ほか修繕							

### 【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度
	総事業費（決算額）			8,117,011 円	10,119,170 円
財源内訳	特定財源		38,826 円	53,807 円	69,398 円
	一般財源		8,078,185 円	10,065,363 円	7,592,383 円

  

活動指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	施設・設備維持管理	箇所	1	1	1	1	100.0%	1
②								
③								

  

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	利用者数	人	75,683	73,136	38,988	82,000	47.5%	60,000
②								
③								
2. 数値で表せない効果 (指標①)								

### 【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
		評価	高い	普通	普通	重複なし	普通			
点数	3	2	2	3	2	3	18			
評価理由		指定管理者により、地域間交流の促進、観光事業の振興及び市民福祉の増進を図るなど、設置目的を理解した運営がされている。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で断続的に全館休業したため利用者は大幅に減少しているが、コロナ禍における自主事業として客室への空気清浄機の導入やテイクアウト弁当の販売を実施している。また、感染防止を考慮した宿泊プランの販売や県で実施した宿泊割引制度へ参加するなど、感染症対策を講じながら雇用の継続に努めている。								

### 【具体的な課題と改善】

<b>事業に対する課題について（目的に対する現状など）</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度利用者数は大幅な減少となっている。</li> <li>・施設・設備の老朽化に伴い、修繕費が増加している。</li> <li>・ほかほかランド美遊の屋内多目的施設について、地域から改善要望が寄せられている。</li> </ul>
<b>改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容）</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者による新たな自主事業やイベントが計画されているので、利用者増加に向けた取り組みに協力し集客へつなげることをしたい。</li> <li>・道の駅の活性化が地域の魅力向上や収益の増加にも繋がる可能性が高いので、指定管理者が設置する運営協議会を通じて、地域の意見を積極的に取り入れ、立地条件を活かした施設運営となるよう協力していきたい。</li> <li>・指定管理者の意見を聞きながら、コロナ対策も含めた優先順位をつけた施設等の修繕を実施していきたい。</li> <li>・ほかほかランド美遊の活用について、小さな拠点の設置も含めた改善の検討を進めていく。</li> </ul>